

日本プロテオーム学会（2015年～2017年理事）

2017年 第一回理事会 資料

開催日時：2017年1月20日（金）15:00～17:00

会場：北里大学薬学部白金キャンパス1号館5階1507会議室

参加予定者（計19名）（50音順，敬称略）

足立，石濱，植田，尾野，川上，木下，木村，久保田，小寺，小松，榊原，朝長，長野，成松，服部，本田，松本，山本，横田

1. 会長挨拶（朝長）

2. 2016年の報告と2017年の計画

(1) 学会運営

会員状況（庶務委員）

- ・ 4社ほど新規法人会員予定あり
- ・ 学生から一般への移行があったのではないか？尾野
- ・ 学生会員から一般への移行に関しては把握できていない。

(2) 会計（会計委員）

【平成27年度（2015年度）会計報告】

収入	7,028,540円
{内訳}	
2015年度への繰越金	5,518,665円
個人会員費	814,000円
法人会員費（7口）	350,000円
その他（お弁当代徴収）	22,000円
その他（JPrOS2015繰入金）	323,142円
利息	733円
支出	1,714,094円
{内訳}	
理事会開催経費	101,424円
Web運営維持管理費	432,420円
地域シンポジウム開催経費	0円
その他（学会賞関連）	27,000円
その他（JPrOS関連行事等）	267,486円
その他（ウェブ会議システム）	183,600円
その他（J-STAGE登録）	193,320円
その他（JPrOS2016開催準備金）	500,000円

その他（口座開設費返金）	1,500 円
振込手数料	7,344 円
予備費（2016 年度への繰越金）	5,314,446 円

【平成 27 年度（2015 年度）会計監査報告書】

収入	7,028,540 円
支出	1,714,094 円
平成 28 年度へ繰越	5,314,446 円

- ・ 年度を超えて支出が発生しているので入れていない。
- ・ 予算 個人 80 万、法人 50 万を見越していた。
- ・ 法人は 46 万円がすでに入金済み。
- ・ 年度跨いで良いのかとの意見があったが、今後は全て事実ベースで書くことにした。

(3) 学会誌(学会誌委員)

- ・ JSTAGE へ登録のため冊子を作り提出している。
- ・ 5 冊を登録用に作っている。申請時に必要であるが戻ってこない。5 回申請できる。
- ・ 冊子は学会で作った方が良いのではないか？という意見。
- ・ 現在審議中。すでに来年度分は締めきれられているので公開は H30 年度の予定。
- ・ 次年度分はすでに執筆依頼と 1 回分は掲載済み。

(4) 行事報告 以下について各委員から説明がなされた。

JPrOS 2016 年大会(服部)：

- ・ 学会参加者 314 名（正会員 177 名、学生会員 36 名、法人会員 2 名、非会員 40 名、待講演者 国内会員 14 名 国内非会員 14 名 国外 4 名）
- ・ 今大会のプログラムは、ほとんどの部分をプログラム委員会に依頼した。
- ・ 若手口頭発表に加えて、一般口頭発表のようなものをいくつか作った方がよい。
- ・ ポスター会場が狭い、というコメントが数名から寄せられた。ポスターの一回の展示数を減らしたことで、ポスターのみしかやっていない日程にしたためと考えられる。ポスター発表者にとっては良いこと。
- ・ 平行して Meet the Expert などやってもよいかもかもしれない。

トレーニングコースについて(足立委員より)：

- ・ 前々日に質量分析学会の講習会があった。そのあと、基盤研で実施。連続参加は 2 名。非会員を 3 万から 4 万(会員の 2 倍)に上げたところ、入会する方が増えた。ほとんどが初心者。
- ・ 測定からデータ解析を一貫してやってほしい。
- MS を使ったことがある人が多いのか？共同研究でやっている人から全くやっていない人まで。少しやっている人が半分以上。
- ・ MS 持っている人とそうでない人の割合は？不明。
- ・ 金額上げたことが本当に効果あったのか？
- ・ 参加費は研究費で払っているのか？：わからないが事務から連絡あった例があったようだ。払えるのか？：払えない理由がない。
- ・ 収支報告を作るべき。

(5) JPrOS2016 理事会議事録の確認(松本)

(6) JPrOS 2017 年大会(朝長)

- ・ 「プロテオームは爆発だ！ー医療に変革をー」をテーマに、2018年7月26日(水)・27日(木)・28日(金)の3日間で開催(一日は教育/トレーニングコース)。
- ・ 以下の海外からの4名の招待講演を企画(2名は企業による招待)
Prof. Akhilesh Pandey, Prof. Benjamin F Cravatt (Invited by ONO Pharmaceutical Co., Ltd.), Dr. Benjamin Ruprecht (recommended by Prof. Bernhard Kuster), Prof. Steven Pelech, Ph.D. (Invited by Cosmo Bio Co., Ltd.)

(7) 生化学会フォーラム(学術委員)

- ・ 日本生化学会にシンポジウムを企画。8割ぐらい席が埋まり盛会だった。
- ・ 今年も、コンバイオにシンポジウムを企画して提出済み。採択可否連絡待ち。

(8) その他の活動

ホームページ、ウェブ会員システムの整備(小寺):

- ・ 大会の案内とともに法人会員のバナーを出すことを対応。
- ・ 10社に協力してもらい、6社バナーを出すことを希望。
- ・ 会費が2000円ということが伝わっていないので、HPに明示。
- ・ 入会案内のところを充実させた。
- ・ 会員管理のところを変更
- ・ 学生会員の管理を充実させた。
- ・ サーバーはレンタルサーバー(designLinxを通して借りている)。

法人会員通信(小寺):

KHUPO 派遣(朝長):

- ・ 服部先生と千葉大の野村先生
- ・ 誰が決めているのか? 執行部会で決めている。
- ・ 去年は一般演題扱いだった(小松理事)が実際は行ってみると招待扱い。
- ・ 日本側は invited speaker 扱いしているので、同等の扱いを求めるべき(発表時間等も含めて)。
- ・ 費用は? 日本はKHUPOからの招待者に飛行機代と宿泊代を持つことにしている。向こうに行く場合は謝金という形をとっている。
- ・ 小松先生は謝金としては受け取れないので交通費・宿泊に書き換えてもらった。
- ・ 費用の支払の名目についても協議してはっきりさせた方が良い。

HUPO イニシアティブ活動(成松、山本):

山本先生

- ・ 腎臓と尿を担当しているが、昨年11月にUSにchairを交代した(山本)
- ・ CHPPのX染色体に関しては毎年2回ミーティングしているが、交代することを考えている(山本)。
- ・ X染色体関連のプロテオームデータを整理することがメインなので jPOST に集まってくるデータを含めて再解析するのが効率的。石濱理事にバトンタッチする。

成松先生

- ・ 医療に結びつけたいがそのような人がいないとのことで、イニシアチブのchairを降りた。
- ・ 今後については見直す時期だと思う。

JPrOS イニシアティブ活動

JHUPO データベースセンター/jPOST (石濱) :

- ・ jPOST は順調。再解析を進めている。

血清・血漿イニシアティブ (朝長) :

- ・ AMED バイオバンクが下地。3つのバイオバンクを製薬企業等に有効に使ってほしい。QC をやってほしいという要望。
- ・ 保存状態に依存するペプチドの探索と評価などを実施。
- ・ 2017 年大会でシンポジウムを企画。予算は今年度までなので次も考える。

3. 審議事項

(ア) 2019 年大会大会長

2018 年は石濱先生に決まっているがその後が決まっていない。
一機関で実施するのは難しい (服部)。要旨集を作るところを別の機関が行うなど負担低減を考慮すべき。場所を考慮してはどうか(例えば、北のほうは開催されていない)。
誰か一人が担当して開催するのは難しい。複数で共催するのはどうか。

(イ) 大会運営内規について(横田)

大会運営の均一化を目的として、大会運営内規を作成した。

(ウ) HUPPO2017 Award Nomination について(朝長)

(エ) 法人化、納税について(朝長)

理事会前に執行部会を行い、税理士と相談した。法人化はやらない方向。納税はきちんと行う必要がある。そのための諸費用がかかる。

(オ) その他